



### 父母から学ぶ仕事の世界 葛中2年が職業講話開催

葛巻中学校（天間保幸校長、生徒58人）の職業講話「父母から学ぶ『仕事の世界』の会」は11月13日、同校2学年を対象に行われました。生徒の父母4名が講師となり、仕事のやりがいや厳しさなどについて講話。顔見知りの保護者の経験に基づく生きた言葉に、生徒らは真剣に耳を傾けていました。ケアマネージャーをしている田澤真澄さん（53歳、小田）は「クラスや家庭で話題にしてもらい、職業選択の幅を広げるきっかけにしてほしい」と講師と親の両面から生徒たちを応援していました。

自らの経験をもとに仕事のやりがいや厳しさを伝える田澤真澄さん④と真剣に耳を傾ける生徒たち

### 元気で長生きしてね🎃 森ハロウィーンで交流

五日市保育園（畑中節代園長囑託員、園児19人）の園児とその保護者らは10月31日、カボチャやお化けなどハロウィーンにちなんだ衣装をし、地域をパレードしました。色とりどりの衣装を身に着けた子どもたちは、江刈デイサービスを訪問。元気いっぱいの踊りを披露し、利用者の皆さんと交流を深めました。本宮ツナさん（74歳、車門）は「かわいい。また来てほしいです」と目を細め、手渡された手作りのお守りとカボチャのお菓子入れを大事そうに抱きかかえていました。



ハロウィーン衣装に身を包み元気いっぱいの踊りを披露する園児と手拍子をしながら一緒に楽しむ利用者の皆さん

### くずまき暮らしを応援 新婚＆住宅取得補助金

新婚ライフサポート金と定住対策住宅取得支援事業補助金の交付式は11月22日、町長室で行われ新婚世帯（2世帯）と住宅取得世帯（1世帯）に鈴木町長から補助金が手渡されました。住宅を新築した服部悟さん（33歳、田代）は「補助金は生活に必要な家具などの購入に充てたい。町に何かしらの形で貢献できたらと思っています」と話してくれました。平成23年度開始の新婚ライフサポート金は、今回の交付を含め63件。昨年度開始した定住対策住宅取得支援事業補助金の交付は合計8件になります。



鈴木重男町長から新婚ライフサポート金を受け取る村木亮介さん、智美さん夫妻



点字で書かれた絵本を指先の感覚を頼りに読んでいく五日市小の児童たちと講師の佐賀善司さん④

### 五日市小で点字教室 感覚使い理解深める

五日市小学校（小関稔校長、児童23人）の3、4年生は10月26日、岩手県視聴覚障がい者情報センターの佐賀善司さんを講師に、点字の読み方や書き方などを学習しました。子どもたちは指先の感覚だけで絵本の読み聞かせをしたり、黒板に迷いなく点字を書いていく佐賀さんの姿に「すごい」「なんで」と驚いた様子を見せていました。また、点字器を使って自分の名前を書いたり、指で点字の絵本を読むなどしながら点字と障がいがある人への理解を深めました。

### ヘリコプター 上空からの偵察訓練 孤立集落発生を想定

11月11日、町は陸上自衛隊東北方面隊が主催する「みちのくアラート2018」で自衛隊のヘリコプターによる偵察訓練を行いました。豪雨による土砂災害により県道が寸断された江刈馬淵地区で孤立集落が発生した想定で訓練。ヘリコプターには、鈴木町長と町の防災担当職員3人が搭乗しました。総合運動公園駐車場を発着とし、約30分かけて小屋瀬から江刈地区を飛行。葛巻町消防団第2中隊が江刈小学校で行っていた火災防御訓練なども偵察しました。



自衛隊のヘリコプターに乗り込む鈴木町長らと上空から見た江刈小学校での火災防御訓練の様子（円内）

### 産直ハウスくずまき高原 軽トラ市開催でにぎわう

産直ハウスくずまき高原（下屋敷竹美協同組合代表）は11月4日、軽トラ市を開催し町内外から訪れた多くの人でにぎわいました。会場にはハウレンソウやキャベツなどの新鮮野菜のほか、さまざまな種類の菊の花が並び、買い物客の足を止めていました。軽トラ市は生産者と直接顔を合わせて購入することができるため、調理方法や花の手入れの仕方などを質問する姿が多く見受けられました。来場者は、会話を通じての新たな発見に満足した様子で買い物を楽しんでいました。



生産者との会話を楽しみながら品定めする買い物客たち